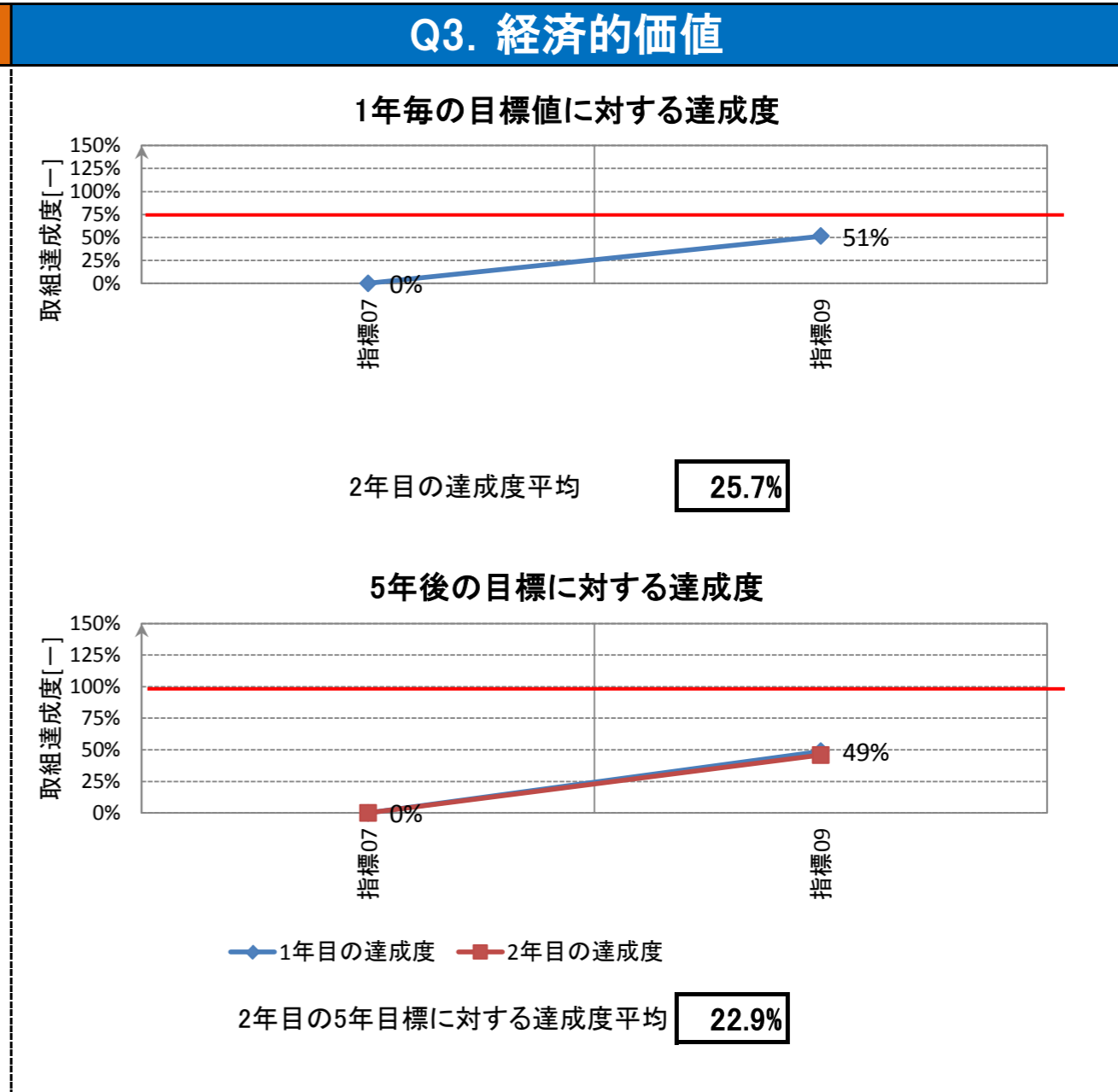
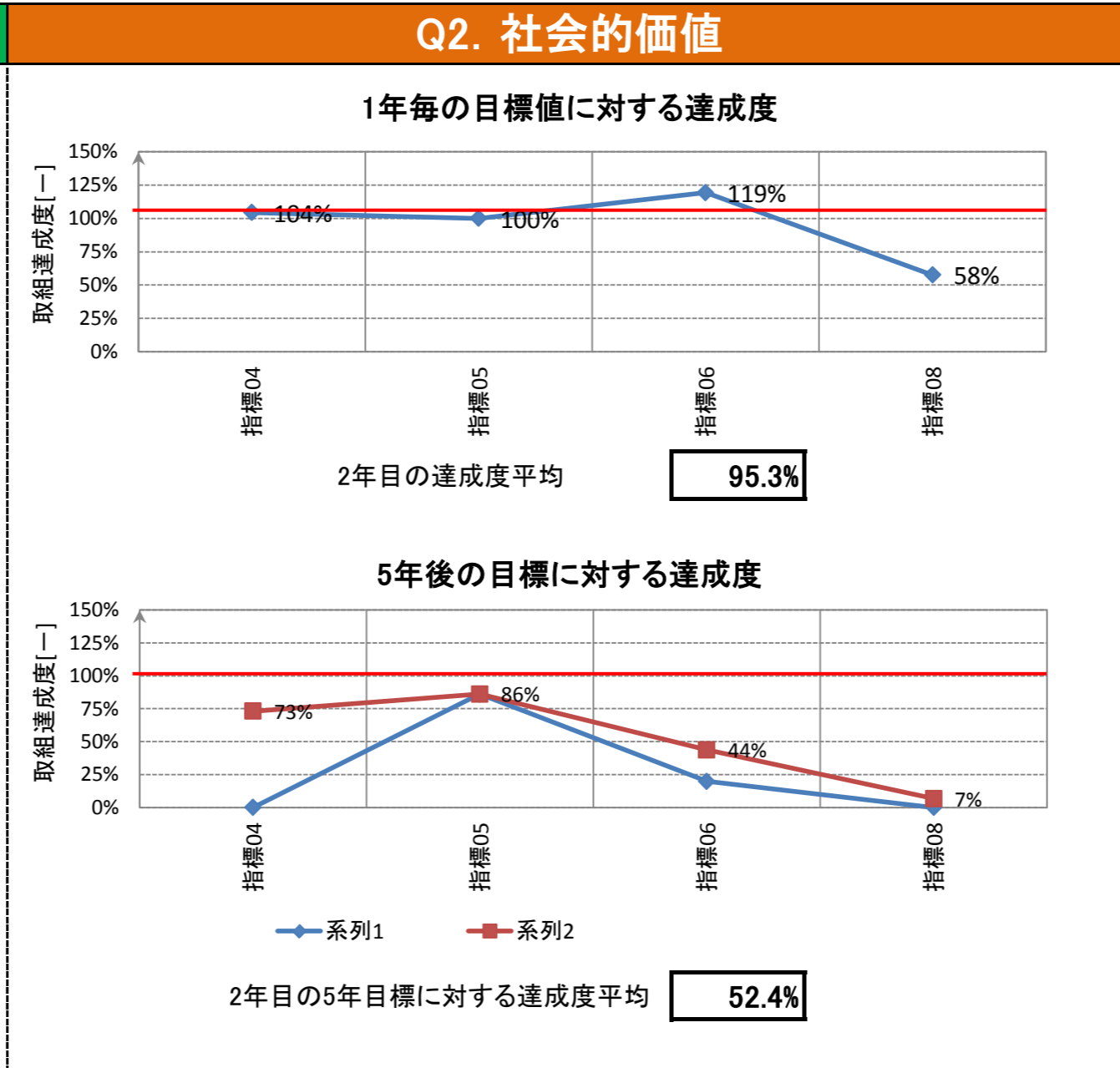
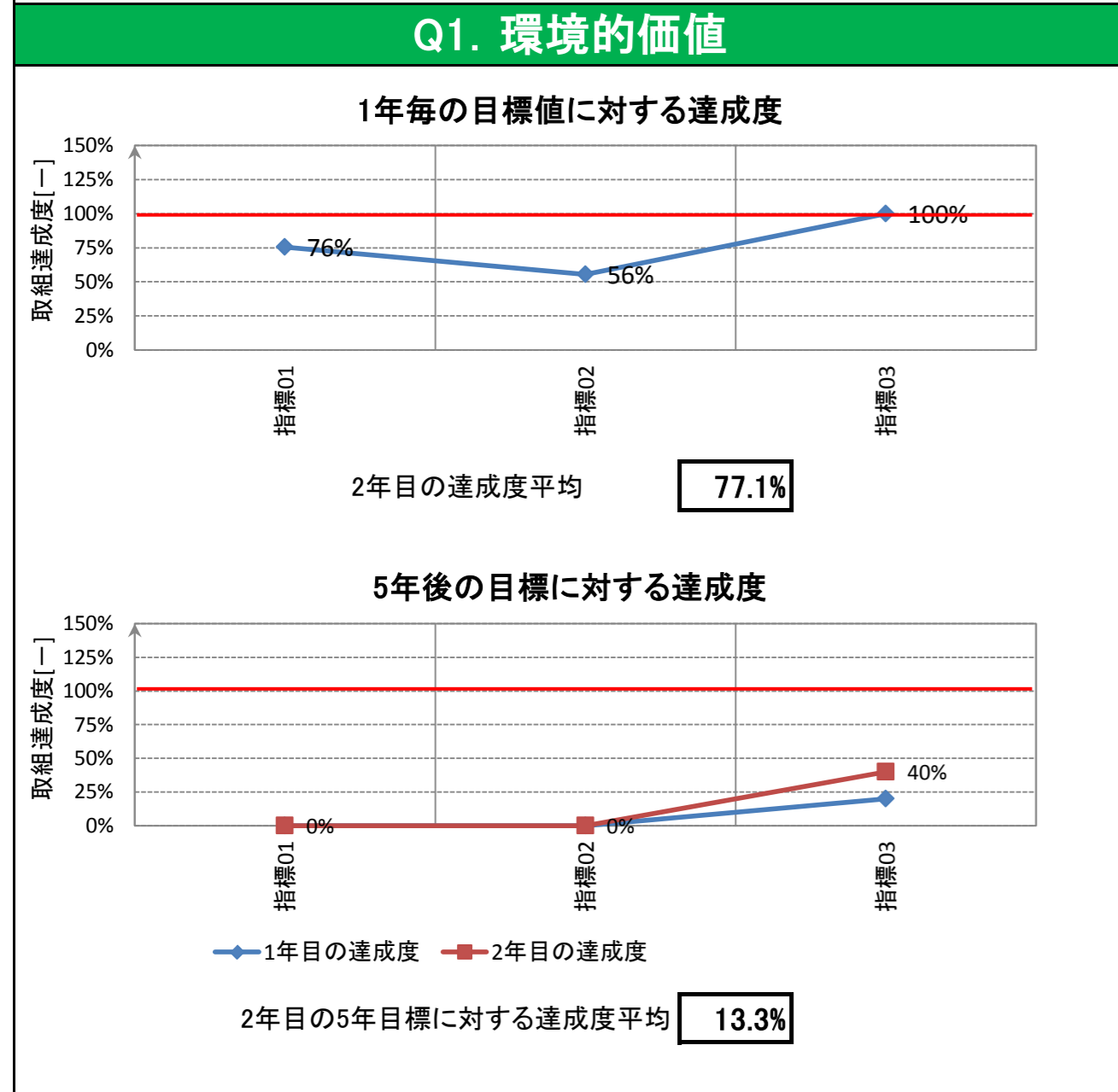


岩手県 釜石市	人口:37,161人、16,986世帯(平成24年3月末現在)
	就業人口:***人(平成24年3月末現在)、市内GDP:***兆円(平成23年度)
	面積:101.86km ² (うち森林面積27.66km ²)

取組進捗評価結果(都市による自主評価に基づく達成度)



指標番号	指標名
指標01	地域内発電能力(kw)
指標02	地域内発電量のうち再生可能エネルギーの割合(%)
指標03	スマートコミュニティモデル構築数
指標04	OKはまゆりネット加入施設の割合(%)
指標05	65歳以上の就業者の割合(%)
指標06	認知症サポーター養成数(人)
指標07	釜石市への移住世帯数(世帯)
指標08	週1回以上スポーツを行った人の割合(%)
指標09	釜石市来訪者数(観光客入込数)(万人)

Q4. 特記したい事項(国際展開・都市間連携等)

環境未来都市を牽引する北九州市は、製鉄業によって栄えたという点で当市とルーツを同じくする背景があり、震災直後から復興支援のために多数の職員を当市へ派遣いただいているほか、環境未来都市計画やスマートコミュニティの取り組みについてもアドバイスをいただいている間柄にある。今後も現在の関係を深めつつ、情報交換や相互に連携した事業展開を検討したい。また、平成26年度からは、小学生とその家族を対象とした環境・エネルギー問題への意識向上を目的に横浜市をはじめ全国の環境未来都市が実施している「環境絵日記」の取り組みを取り入れることとしており、「環境絵日記」の取り組みを通じて他の環境未来都市との交流を深めつつ、広く普及啓発に努めていきたい。

平成25年度の取組総括

環境・エネルギーの分野では、平成24年度に策定したスマートコミュニティ基本計画に基づき、中心市街地へのスマートコミュニティ導入、周辺部における木質バイオマスエネルギーの活用、その他風力・太陽光等の再生可能エネルギーの利用促進に向けた調査検討を行った。高齢化対応・医療福祉の分野では、見守りの要となる地域包括ケア本部の設置に向けた関係機関との協議・準備を進め、また地域独自の医療ネットワークのシステム構築・周知啓発に励み、来る超高齢化時代に対応する見守り体制の強化を図った。一方で、震災から3年が経過したが、市民を取り巻く環境や市が行う様々な事業においても局面は刻一刻と変化し続けており、この度、止む無く指標の一部を変更するに至った。今後も、これまで以上に各関係機関との連携を密にしながら、状況を見極めつつ構想実現に向けた取り組みを進めていきたい。

委員からの取組全体に関する評価

委員からのコメント（釜石市）

- 復興に向けて具体的な活動を展開しており、町の活性化が実現されることが期待される。
- 総合的に進歩が見えてよかった。4-1. に関して、住民の理解が見えない。住民に説明を広める(啓蒙)がなっているかどうか心配である。7-1. の取り組みは素晴らしいが、**proprietary**(独自)システムにならないように慎重に進めてほしい。クラウドデータ(このデータベース)は未来のために貴重な情報で、個人情報簡単に守れる。言い訳に使わず、それを考えて欲しい。ただ、オープン(シェアできる)システムで。企業は嫌うが、絶対必要。フィールドミュージアムは素晴らしい。ワールドカップは来てもらいたい(見に行きたい)が、仮設を検討すべき。今なら、例えば、30,000人収容の設備にワールドカップ中にしておき、その後15,000人に減らす技術は、最初から取り入れればさほど難しいものではないのでは。そうすれば、町の規模に合うものもできる。
- 経年での進捗状況が難しい社会性指標（市民意識）を見直した点は大きな進歩であると言える。今後はスマートコミュニティコンソーシアムに集まる情報を活かして環境分野での進捗管理の高度化も進めて欲しい
- 官主導から民へいかに重心を移していくかが課題。産業遺産を活用したフィールドミュージアムの発展に是非期待したい。
- 計画は順調に進捗している。健康寿命延伸の具体化策が見られないので頑張ってもらいたい。
- 企業が関連するものは、その中で市の役割を明確にすると良い。
- 被災地モデルの中では良好であると判断できる。
- 少しずつ成果が上がり始めていると思う。より企業との連携・企業・雇用の創出等、持続性を勘案した取組を進めて欲しい。
- 雇用の拡大が大きな課題と言える。これにより人口の流出を抑え、地域の活性化に繋ぐことが重要。観光推進も重要なポイント。
- うまく世界遺産に登録されたあかつきに環境未来都市の取組もアピールできるよう、目玉となるものを「しこむ」とよいと思う。

環境未来都市 PDCAサイクルを回すための取組執行体制に係わる自己チェックリスト

作成日：平成26年6月5日
 作成者(部署／氏名)：釜石市リーディング事業推進室／宮崎 将太
 承認者(部署／氏名)：釜石市リーディング事業推進室／平松 福壽

確認事項	チェック項目	確認根拠	確認	是正処置
①環境未来都市計画及び目標の策定	環境未来都市計画の各取組に中長期(5年後)および単年度(1年後)の目標が設定されている。	環境未来都市計画書	✓	
	全ての目標値は定量的に評価できる。定量的に評価できない目標値は、その進捗を計測する代替手段がある。	取組個票	✓	
	全ての取組においては責任者が定められており、明文化されている。		✓	
②実施体制の構築	構成員間の役割分担・責任分担が明文化された体制図が作成されている。		✓	
	部局間、事業間の連携を図るために仕組みづくり(会議運営等、各都市で具体的な内容を明記)が検討されており、かつ実行されている。		✓	
③都市間連携・ネットワークの有効活用	北九州市とスマコミに関して連携をしている、もしくは今後連携を予定している。		✓	
	成功事例を他へ展開するために視察の受入を構築している、もしくは今後構築を予定している。		✓	
④関係者の参画	全体計画の立案から、その実行、見直しの全てのフェーズにおいて関係者が参画している。		✓	
	環境未来都市計画において各取組に参画が必要な関係者が特定されており、明文化されている。		✓	
⑤関連文書の記録・作成	文書の作成者、承認者が決まっている。また文書・記録の管理を実施する責任者が決まっており、明文化されている。		✓	
	作成された文書・記録の保管場所・保管期間が決まっており、関係者に周知徹底されている。		✓	
	ウェブサイト等のICTを活用した情報開示を行っている。		✓	
⑥取組状況の定期的な確認並びに問題の是正および予防	計画の中で、定期的(1回／年)に「取組評価」の自主評価が明文化され、かつ実行している。	環境未来都市計画書	✓	
	定期的(1回／年)な自主評価の結果、目標の達成が難しいと判断された取組に対しては確実に是正処置を施すよう、その確認をする責任者が決められている。		✓	
	計画の中で、毎年PDCAサイクルを回すための取組執行体制に係わる自己チェックリストの自主評価が明文化され、かつ実行している。		✓	
⑦代表者による全体の評価と見直し	代表者による全体評価のプロセスが構築され、かつ実行している。		✓	
	代表者による全体評価において評価すべき項目が決められている		✓	
	前回の代表者による全体評価での指示事項は全て実行されている。		✓	
⑧その他	代表者による全体評価のプロセスが構築され、かつ実行している。		✓	

是正処置への対応の詳細

代表者による確認

推進委員会による確認